

巡回拠点なでしこ

かがやき

つうしん

北区立なでしこ小学校校長 戸倉 務

巡回拠点なでしこ 巡回指導教員

令和7年1月9日発行 第9号

なでしこ小職員室: 3901-2601

巡回拠点なでしこ直通: 3901-2622



今年もよろしくお願ひいたします。

冬休みもあっという間に過ぎました。年末年始、子供達はご家族の皆様と楽しく過ごせたのではないかと思います。子供の頃の経験は、後になって生きることがあります。経験が豊富だと、知識や語彙も増え、理解力や表現力も増します。楽しい

経験は気持ちの安定や生きる力にもつながります。特別支援教室では、今年も子供の成長を願って、いろいろな学習を通して成功体験をさせていこうと思います。

今年もご協力をよろしくお願ひいたします。

★保護者面談 ありがとうございます★

お忙しい中、お時間を作ってください、ありがとうございます。話し合ったことを指導に生かしていきます。なお、何かございましたら、連絡ファイル等でお知らせください。必要に応じて随時面談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

★今後の予定★

2学期（1月～3月）	
冬休み後指導開始	1月 9日（木）
3月保護者面談期間	3月 6日（木）～19（水）
2学期指導終了	3月12日（水）

※予定は変更することもございます。毎月のおたより等でご確認をお願いいたします。





今月のテーマ : 余裕をもって準備できるように、環境などを整える

朝の準備に時間がかかる
遅刻してしまいやすい



活動を順序立てて計画的に行うことが苦手で、時間をうまく配分して管理することも不得意な子供がいると思います。朝の支度の際、気が散りやすいため、関心が向いたことに気をとられやすく、今やらなければならないことが後回しになってしまう場合があります。また、家を出る直前に忘れ物に気付く、それが遅れる原因になることもあります。

子供の状態は様々であり、年齢によっても変わってきます。このような状態を改善するために、本人と保護者の方が共に取り組む方法（あくまでも一例です）を、以下に述べていきたいと思います。



①朝のスケジュール表を作る

毎朝同じことを、同じ時間に繰り返して行えるように、朝のスケジュール表を作り、子供が見えやすいところに貼っておいてはいかがでしょうか。保護者の方が注意しなくても、子供自身が次に何をすれば良いか、確認できる環境を整えておきましょう。

優先順位を付けることが苦手な場合は、タイムテーブルにして、「6じ30 ぶん おきる」「6じ40 ぶん きがえ」 など…）何をどの順番に行うか決めておくといいでしょう。



②子供任せにせず、保護者が声を掛けながら支援する

「自立を促すためには、一人でやらせた方が良い。」という考え方があります。子供の状態や発達段階にもよりますが、保護者の方が積極的に声掛けをして、子供が遅刻をせずにすむように、支援する方が良い場合もあります。

声掛けの例：「7時20分だから、そろそろ持ち物チェックをしよう。」など



③前の晩に入念に準備をしておく

不注意や忘れやすさがある子供の場合は、朝になってから大切な持ち物を思い出したり、準備しておいた持ち物を机の上に置き忘れていたりといったトラブルが起こりやすいと言えます。前の晩に、本人と保護者の方とで入念にチェックをして、準備を終わらせておくようにすると良いでしょう。

また、テレビを消しておく、スマートフォンやゲームなどを目につくところに置かないなど、朝の準備に専念できる環境づくりも大切です。

参考文献：『よくわかる ADHD の子どものペアレンティング』

榊原洋一 著 ナツメ社

